

2022年2月7日

### ダムクイズQ1<柳瀬ダム>

【ダムクイズ】Q1

Q1 #柳瀬ダム が建設されていた昭和25年当時、コンクリートに必要な骨材は、主に河床砂礫を活用していました。柳瀬ダムではどのように堤体のコンクリートを作成したでしょうか

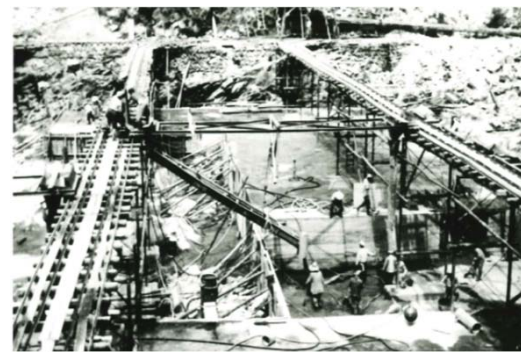
- ①瀬戸内海が近いため海砂を利用
- ②金鉱山跡(金を精錬後にできる岩材)を活用
- ③同時期の早明浦ダム建設で出た土砂を活用
- ④別の河川にある河床砂礫を主に活用



完成直後の柳瀬ダム



河床部のコンクリート打設



(添付画像は建設当時の貴重な写真です)

2022年2月14日

### ダムクイズQ1解答含む

解答:④です

【ダムクイズ(回答)】

答えは④です。

ダムコンクリートは、膨大な量の骨材を必要とするため、基本的にできるだけ近場で調達しますが、銅山川は狭い河川で、骨材となる砂礫が少なかったのです。そのため、骨材の大半は現場から直線距離で約25kmにある香川県の財田川から採取し、鉄道や索道を使って運搬しました

法皇山脈を越える骨材専用索道



貨物車両へ骨材積込(本山)



昭和26年5月に骨材専用索道



柳瀬ダムの建設には、ダムコンクリートにAE材(混和剤)の採用や、多孔式の取水設備を採用する等新しい技術が取り入れられています。